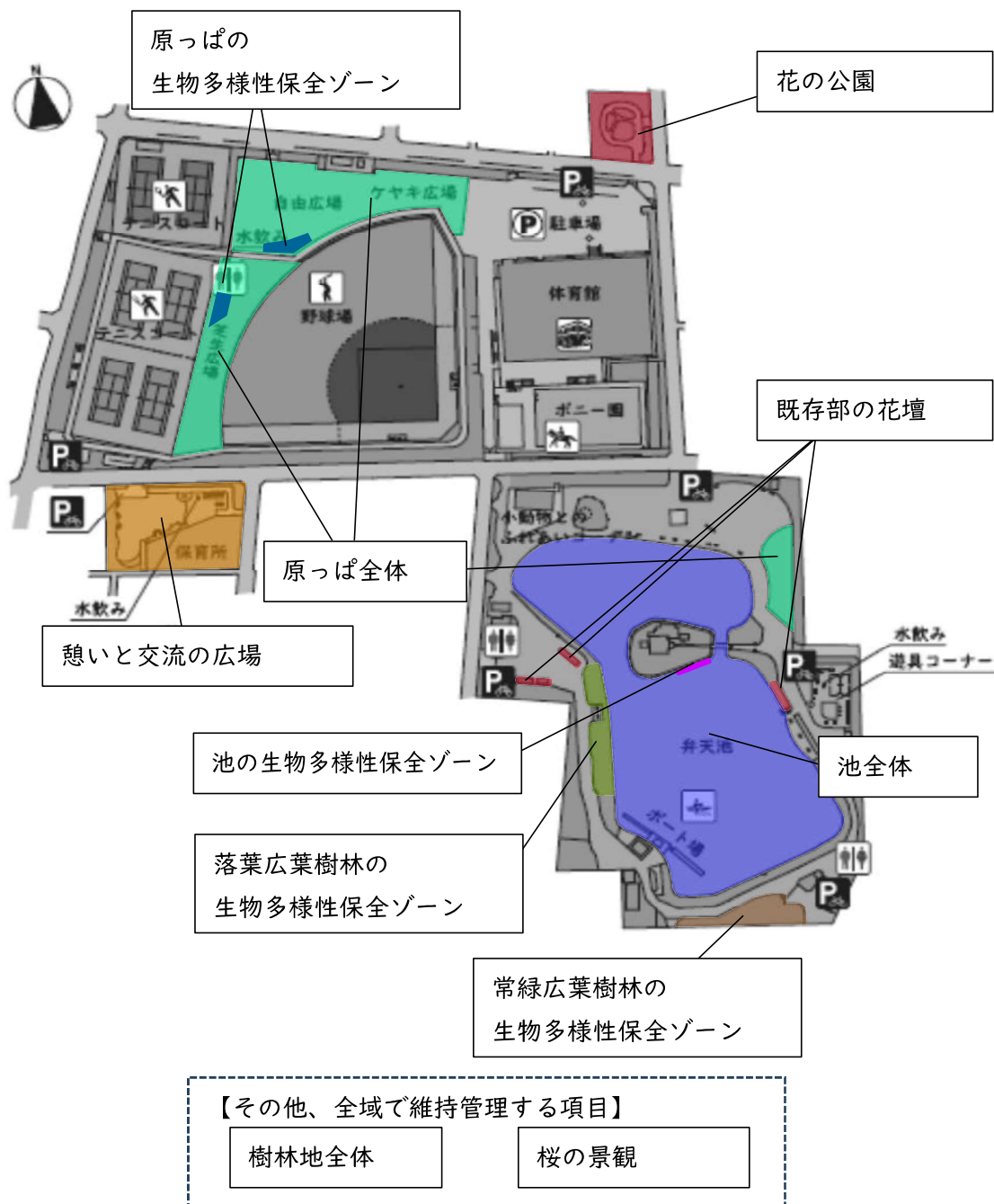


維持管理エリアマップ



維持管理エリアマップ

維持管理の内容

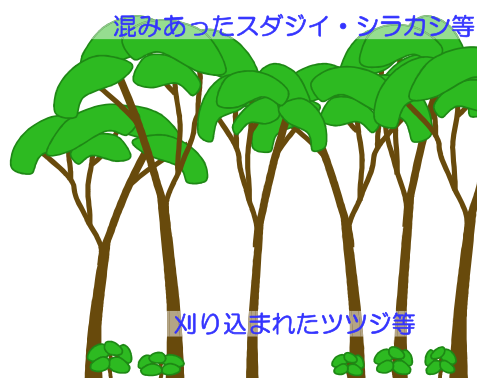
常緑広葉樹林の生物多様性保全ゾーン

目指す姿

スダジイやシラカシなどの常緑広葉樹の後継樹が育つ階層構造のある生物多様性の豊かな樹林地を目指します。



(改善前)



(10年後)



管理方法

管理内容	担い手	頻度
・ 2023（令和 5）年度に新植した中木、低木の支障枝を剪定し、低木層、草本層に適度な光を入れる。 ・ 既存の低木（ツツジ類など）が大きくなり過ぎないように剪定する。	目黒区	適宜
・ ササを含む草本類の除草等を行う。その際、一部に刈り残すゾーンを設ける。	目黒区	年に 2 回
・ 大きくなりすぎた高木の支障枝を剪定し、中間層、低木層、草本層に適度な光を入れる。 ・ 大きくなりすぎた高木のうち、隣接する高木との干渉が避けられないもの、衰弱しているものがあれば、間引く。 ・ 必要に応じ、後継樹となるスダジイ又はシラカシの苗木を補植する。	目黒区	5 年に 1 回程度 点検し必要に応じて実施
・ 既存の低木（ツツジ類など）のうち、衰弱しているものがあれば、間引く。 ・ 必要に応じ、ヤマツツジ、ムラサキシキブ、アセビ、ヤブコウジ、ツワブキのいずれかを補植する。	目黒区	5 年に 1 回程度 点検し必要に応じて実施

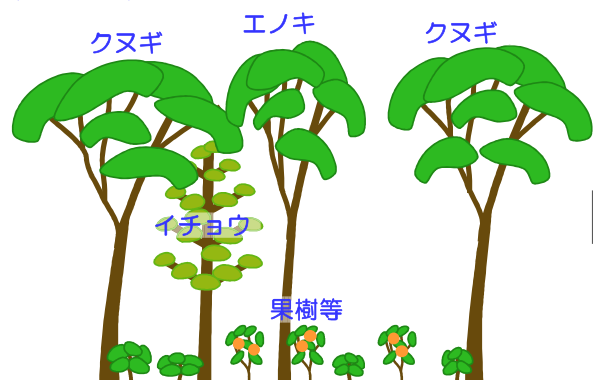
落葉広葉樹林の生物多様性保全ゾーン

目指す姿

クヌギやコナラなどの落葉広葉樹の後継樹が育つ階層構造のある生物多様性の豊かな樹林地を目指します。



(改善前)



(10年後)



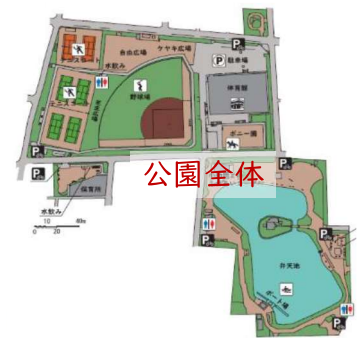
管理方法

管理内容	担い手	頻度
・2023（令和5）年度に新植した中木、低木の支障枝を剪定し、低木層、草本層に適度な光を入れる。 ・既存の低木（果樹など）が大きくなり過ぎないように剪定する。	目黒区	適宜
・ササを含む草本類の除草等を行う。その際、一部に刈り残すゾーンを設ける。	目黒区	年に2回
・大きくなりすぎた高木の支障枝を剪定し、中間層、低木層、草本層に適度な光を入れる。 ・大きくなりすぎた高木のうち、隣接する高木との干渉が避けられないもの、衰弱しているものがあれば、間引く。 ・必要に応じ、後継樹となるクヌギ又はコナラの苗木を補植する。	目黒区	5年に1回程度 点検し必要に応じて実施
・既存の低木（果樹など）のうち、衰弱しているものがあれば、間引く。 ・必要に応じ、ヤマツツジ又はムラサキシキブを補植する。	目黒区	5年に1回程度 点検し必要に応じて実施

樹林地全体

目指す姿

現状の樹林地の雰囲気将来に引き継ぎながら、高木の後継樹が育つ階層構造のある樹林地の状態を維持することを目指します。



管理方法

管理内容	担い手	頻度
・ 中木、低木の支障枝を剪定し、低木層、草本層に適度な光を入れる。	目黒区	適宜
・ ササを含む草本類の除草等を行う。	目黒区	年に 2 回
・ 大きくなりすぎた高木の支障枝を剪定し、中間層、低木層、草本層に適度な光を入れる。 ・ 大きくなりすぎた高木のうち、隣接する高木との干渉が避けられないもの、衰弱しているものがあれば、間引く。 ・ 必要に応じ、後継樹の苗木を補植する。	目黒区	5 年に 1 回程度 点検し必要に応じて実施
・ トウネズミモチの実生木の分布状況を点検して除去する。 ・ トウネズミモチの切り株の萌芽状況を点検して除去する。	目黒区	5 年に 1 回程度 点検し必要に応じて実施
・ エコスタック（石積、丸太積、粗朶積）が崩れている場合や、囲いのロープや看板に異常がある場合には対応する。	目黒区	適宜
・ エコスタック（石積、丸太積、粗朶積）の状況を点検し、石、丸太、粗朶が不足している場合には補充する。	目黒区	5 年に 1 回程度 点検し必要に応じて実施
	住民参加型管理	適宜

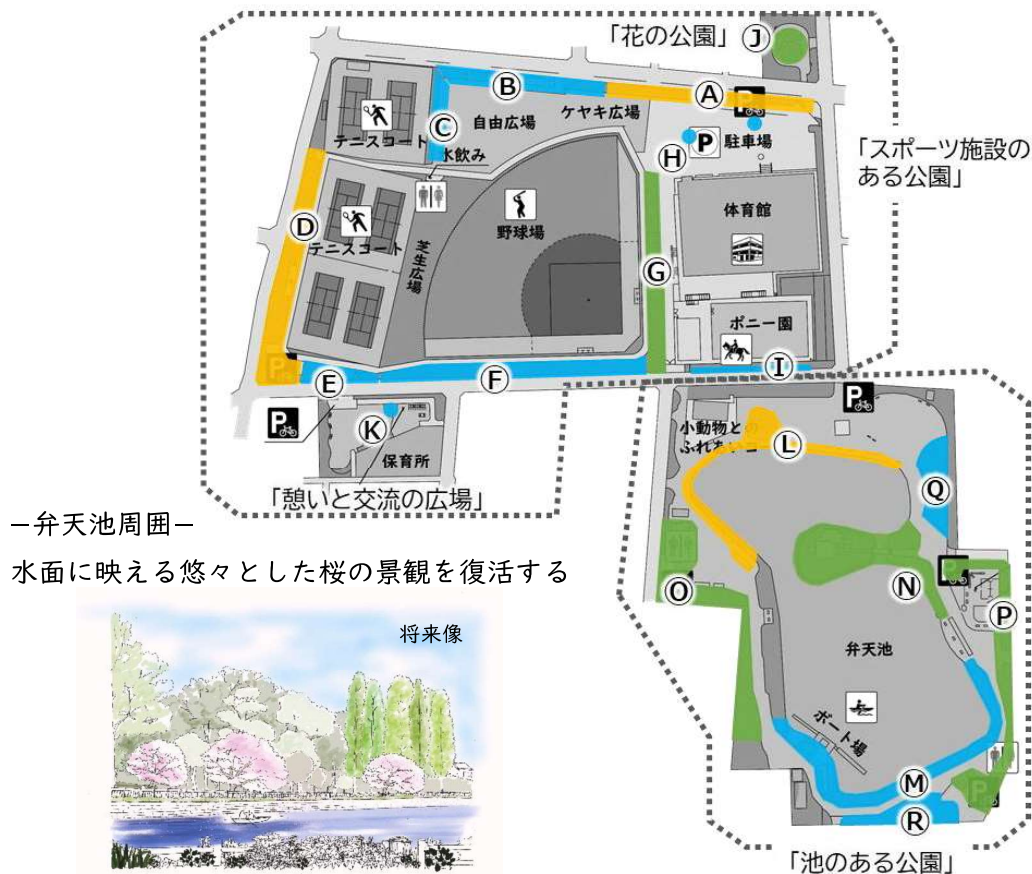
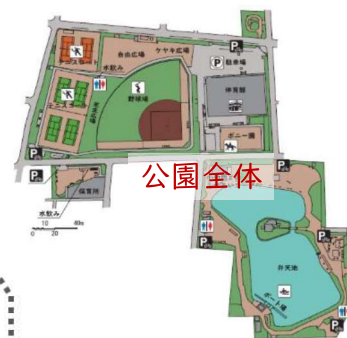


設置したエコスタック（石積、丸太積、粗朶積）

桜の景観

目指す姿

エリアごとに下記の将来像を目指します。



ー弁天池周囲ー

水面に映える悠々とした桜の景観を復活する



- 保全タイプ：剪定等の標準的な維持管理に加え、適宜、土壌のエアレーション等の生育環境改善を行い、今ある桜が健全に生育できる環境を整備・維持する。
- 再生タイプ：今ある桜を保全しつつ、健全化困難な桜の段階的な世代交代や、適正間隔での植替えにより、桜景観の再生を目指す。
- 充実タイプ：今ある桜を保全しつつ、日照の確保や隣地への越境に注意しながら補植を行い、見ごたえのある桜景観への充実を図る。

出典：ー目黒のサクラ再生実行計画ー

碑文谷公園サクラ再生実行計画（2023（令和5）年3月）

管理方法

桜の景観を保全、再生、充実していくために、「ー目黒のサクラ再生実行計画ー碑文谷公園サクラ再生実行計画（2023（令和5）年3月）」に基づいた管理を行います。

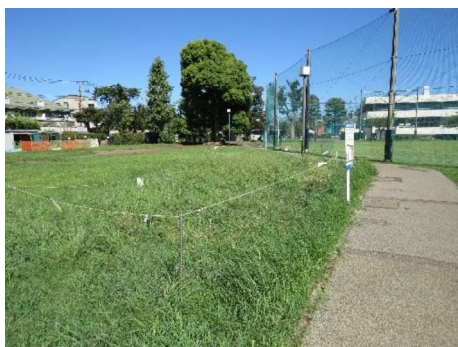
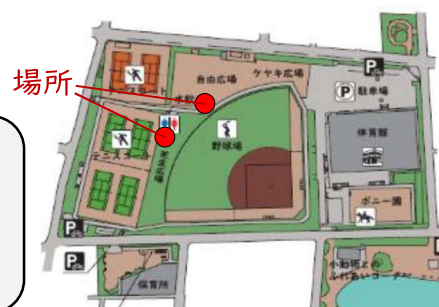
詳細は、目黒区ウェブサイト
に記載しています



原っぱの生物多様性保全ゾーン

目指す姿

かつてこの地域に半自然草地として残されていた生物多様性の豊かなチガヤ草地を目指します。



原っぱの生物多様性保全ゾーン（自由広場と芝生広場）



将来像（チガヤ草地）のイメージ

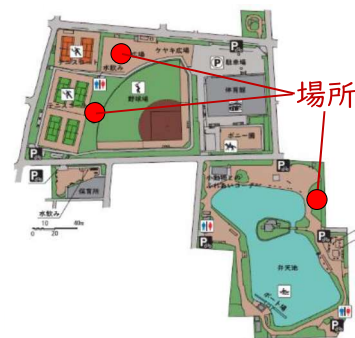
管理方法

管理内容	担い手	頻度
・2年に1回の頻度で草刈りを行う。なお、2か所の生物多様性保全ゾーンで草刈りを行う年を変え、同時に刈り取らないようにする。また、草刈りの時期を、自由広場は7月（中旬）ごろ、芝生広場は10月ごろに設定して変化を持たせる。	目黒区	点検結果により 毎年交互に実施

※樹木の実生が見られるようになるなど、草刈り頻度が低すぎる場合には、適宜草刈り頻度の見直しを行う。



原っぱ全体（自由広場、芝生広場、ケヤキ広場、池東側広場）



目指す姿

現状の原っぱの雰囲気を将来に引き継ぎながら、裸地ができることなく草丈の低い草本が育つ状態を維持することを目指します。

管理方法

管理内容	担い手	頻度
【自由広場、ケヤキ広場】 ・年に2回の草刈りを行う。草刈りの時期は、7月（上旬）、9月を目安とする。	目黒区	年に2回
【芝生広場】 ・年に4回の草刈りを行う。草刈りの時期は、6月、7月（下旬）、8月、10月を目安とする。	目黒区	年に4回
【池東側広場】 ・年に2回の草刈りを行う。草刈りの時期は、7月（上旬）、9月を目安とする。 ・草刈りの前にワルナスビの生育状況を点検し、その後の対応を検討する。	目黒区	草刈り：年に2回 ワルナスビ刈り取り：適宜

原っぱ全体の草刈り時期の目安

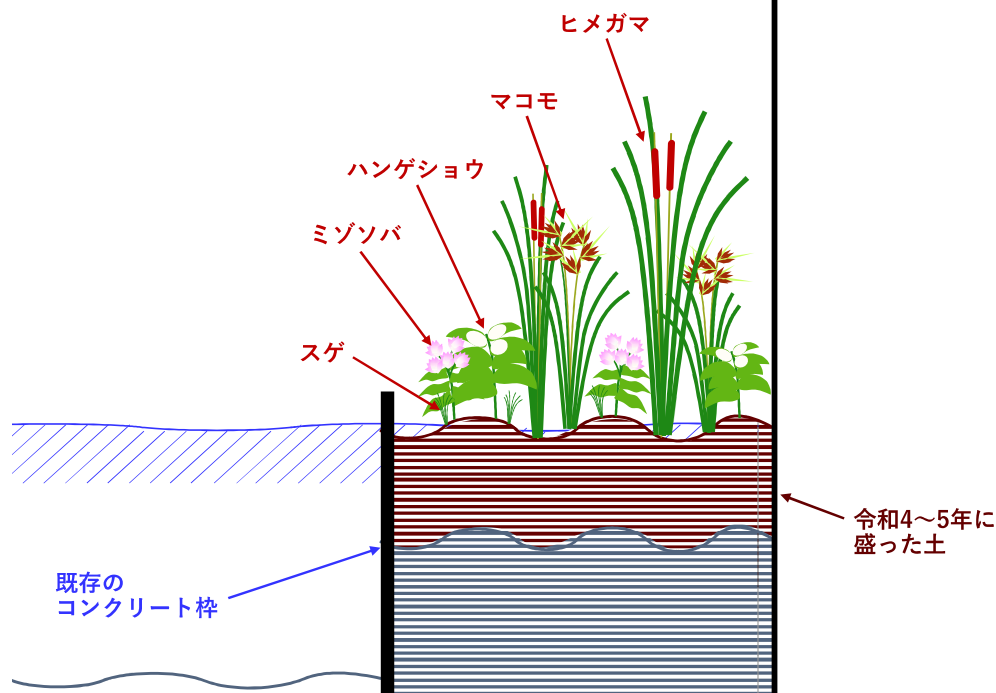
場所	西暦偶数年					西暦奇数年				
	6月	7月	8月	9月	10月	6月	7月	8月	9月	10月
自由広場、ケヤキ広場、池東側広場		● (上旬)		●			● (上旬)		●	
自由広場の 生物多様性保全ゾーン							● (上旬)			
芝生広場	●	● (下旬)	●		●	●	● (下旬)	●		●
芝生広場の 生物多様性保全ゾーン					●					

※自由広場と芝生広場で草刈りを行うタイミングをずらし、常にバッタやキリギリスなどが生息できる草地が残るようにする。

池の生物多様性保全ゾーン

目指す姿

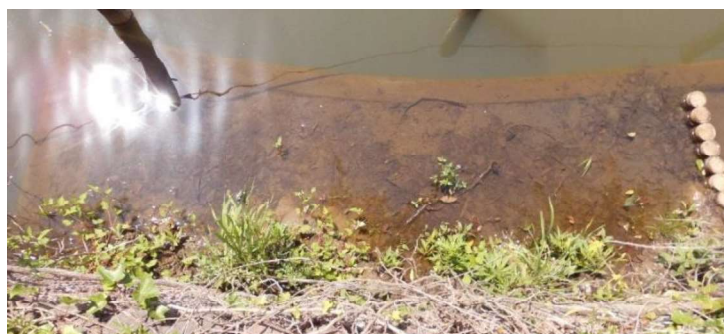
かつてこの池に見られたような、生物多様性の豊かな水生植物が生育する水辺を目指します。



池の生物多様性保全ゾーンの将来像

管理方法

管理内容	担い手	頻度
・ 秋から冬に草刈りを行う。	目黒区	適宜
・ キショウブやセイタカアワダチソウなどの外来種の抜き取りを行う。	目黒区	年に1回



造成した生物多様性保全ゾーン（2023（令和5）年5月の調査時）

池全体

目指す姿

現状の池の雰囲気将来に引き継ぎながら、ブルーギル等の外来種を減らし、モツゴやテナガエビ等の在来種の生息を維持することを目指します。



管理方法

管理内容	担い手	頻度
・池内に設置したポンプから水を採取し、浄化設備内でゴミの回収や微細な汚れの撤去を行い、ろ過水を放流する。	目黒区	通年
・アカミミガメ、ブルーギル、アメリカザリガニなどの外来種を駆除する。	目黒区	年に１回

花の公園

目指す姿

現状の花の公園の雰囲気将来に引き継ぎながら、四季折々の草木・草花に彩られた状態を維持することを目指します。



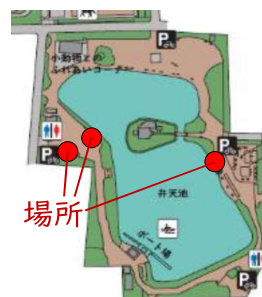
管理方法

管理内容	担い手	頻度
・中木、低木の支障枝を剪定し、低木層、草本層に適度な光を入れる。	目黒区	適宜
・草本類の除草等を行う。	目黒区	年に２回
・大きくなりすぎた高木の支障枝を剪定し、中間層、低木層、草本層に適度な光を入れる。 ・大きくなりすぎた高木のうち、隣接する高木との干渉が避けられないもの、衰弱しているものがある場合は、間引く。 ・必要に応じ、後継樹の苗木を補植する。	目黒区	５年に１回程度 点検し必要に応じて実施
・花の植え替え、追肥、草取りを行う。	花の公園くらぶ グリーンクラブ	通年

既存部の花壇

目指す姿

現状の花壇の雰囲気将来に引き継ぎながら、四季折々の草花に彩られた状態を維持することを目指します。



管理方法

管理内容	担い手	頻度
【池の北西側】 ・ 花の植え替え、追肥、草取りを行う。	碑文谷公園 グリーンクラブ	通年
【池の東側】 ・ バラの剪定、追肥、草取りを行う。	碑文谷バラ会	通年

憩いと交流の広場

目指す姿

現状の広場の雰囲気将来に引き継ぎながら、蝶や野鳥が訪れる四季折々の草木・草花に彩られた状態を維持することを目指します。



管理方法

管理内容	担い手	頻度
・ 中木、低木の支障枝を剪定し、低木層、草本層に適度な光を入れる。	目黒区	適宜
・ 草本類の除草等を行う。	目黒区	年に2回
・ 蝶や野鳥が好む草本等の補植を行う。	住民参加型管理	適宜